

① 記事で意味する「預かり保育」と「放課後児童クラブ」の違いは何ですか。説明しましょう。

別府市の公立幼稚園児

別府市で公立幼稚園児の降園後の居場所づくりが課題になっている。市教委は降園後に過ごす「預かり保育」を拡充してきたが、5園にとどまることになり、市は小学生が対象の放課後児童クラブでの園児の受け入れを継続する方針を示した。一方、利用者の増加で過密状態が続くクラブは、小学生を制限しながら園児を受け入れている実態があり、今後の対応に苦慮している。

居場所づくり 降園後に課題

市教委はこれまで午後3時までだった預かり保育を最長7時まで延長し、保護者が安心して預ける環境を整えてきた。一方、受け入れ先となる児童クラブは年々利用者が増え、多くが低学年だけでパンク状態に。17年度は2園（鶴見、山）に増やした。19年度は1園（鶴見）を増やし、19年度は鶴見、山、なつての3園に増やした。市は14年に園児の受け入れを19年度末までと定めた。当初は6園程度を目指していたが、支障員の見直しや、保育の拡充が見込めず、受け入れを断ったクラブもある。市放課後児童クラブ連絡協議会の楠川明会長は「クラブは園児

人材の確保や利用者増加など受け入れに苦慮

市教委は「公立幼稚園」の受け入れを19年度末までと定めた。当初は6園程度を目指していたが、支障員の見直しや、保育の拡充が見込めず、受け入れを断ったクラブもある。市放課後児童クラブ連絡協議会の楠川明会長は「クラブは園児

② 市が困っていることと、放課後児童クラブの現場が困っていることをそれぞれまとめましょう。



放課後児童クラブで、おやつを食べる子どもたち。利用者は年々増加している

別府市は公立小学校と公立幼稚園が併設する「一校一園制」が根付いており、原則小学生が対象の放課後児童クラブで園児を受け入れてきた。クラブの利用者は年々増えており、2016年度は1385人（うち幼稚園児は211人）、17年度は1493人（同171人）となっている。

(2018年2月28日付朝刊別府速見面)

③ 記事を読んだ感想や、自分が考えた問題の解決策などを自由に書きましょう。